

- 水と緑と土のおいがいっぱいの 住みよあびこにします
 - 心と体をきたえ 生き生きと働き 伸びゆくあびこにします
 - 老人を大切にし 子どもの夢を育て 幸せなあびこにします
 - ふるさとを愛し 文化を高め 豊かなあびこにします
 - みんなで話しあい きまりを守り 明るいあびこにします
- 昭和56(1981)年1月15日制定



市ホームページアドレス <http://www.city.abiko.chiba.jp/> 携帯サイト <http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>
 編集・発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-0127 No.1306 (毎月1日・16日発行)

平成24年度一般会計予算

349億6000万円

平成24年度予算は、震災の復旧・復興及び放射能対策を最優先に実施
 一般会計予算は、前年度より1.8%増の349億6000万円に

震災からの早期復旧・復興、安全・安心なまちづくりに向けて

財政課 内線・236

市の平成24(2012)年度当初予算が、3月の定例市議会にて可決されました。一般会計は、前年度に比べ1.8%増の349億6000万円となり、一般会計に5つの特別会計と水道事業会計を加えた予算総額は、前年度に比べ27億5352万1000円増の、644億4498万7000円となっております。

歳入 本年度も市税が減少

布佐ポンプ場築造や若松地区排水ポンプ整備など、布佐駅南側まちづくり事業などを着実に実施していきます。

市税収入が年々減少する中、一般会計予算が前年度より増額となったのは、東日本大震災による災害復旧や災害関連経費の増額、被災者への支援、放射能対策の実施のほか、生活保護費や障害者介護給付費、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等への繰入金など社会保障費全般が増加したことなどによるものです。

平成24年度は、東日本大震災により大きな被害を受けた布佐東部地区や小・中

学校の早期復旧・復興をめざすとともに、福島第一原子力発電所の事故により発生した放射能への対策を継続して重点的に実施します。

また、事業の優先順位や必要性を精査し策定した第6期実施計画に基づき、防災用施設の整備や障害者支援(障害福祉サービス施設の施設整備補助)、子育て支援(新規開設私立保育園2園への委託・運営補助)、安全・安心なまちづくり事業(水害対策として実施す

子どもたちの将来のために 徹底した放射能対策を



我孫子市長 星野 順一郎

平成24年度は、平成23年度に引き続き、震災の復旧・復興や放射能対策について全力で取り組みます。

放射能対策については、第2次除染計画に基づき小・中学校、保育園、幼

稚園、公園など、子どもたちの生活空間の除染を引き続き行うとともに、自治会や市民団体などが行う除染作業に対し、アドバイザーの派遣や資機材の提供などを通じて積極的に支援します。除染の進捗状況や放射線量の推移は、広報やホームページを通じてお知らせしていきます。

また、子どもたちの内部被ばくの健康診断について

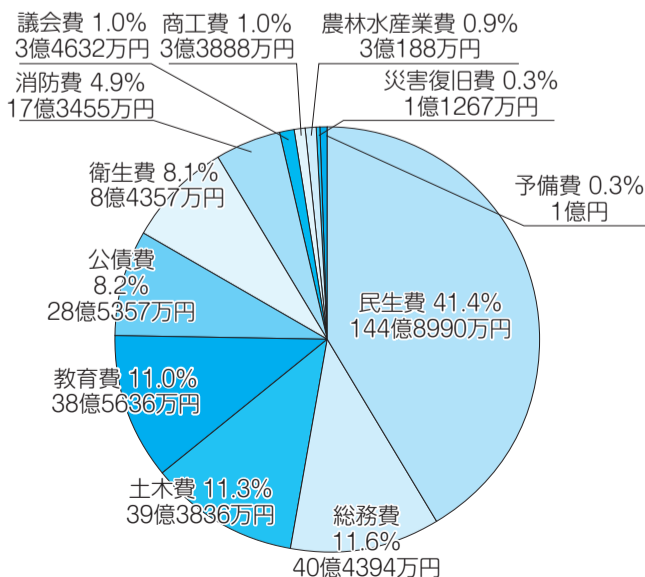
は、実施に向けて検討していきます。さらに、農産物や給食食材の検査体制を強化していきます。

なお、放射能対策総合計画を早急に策定し、第2次除染計画と合わせて推進していきます。

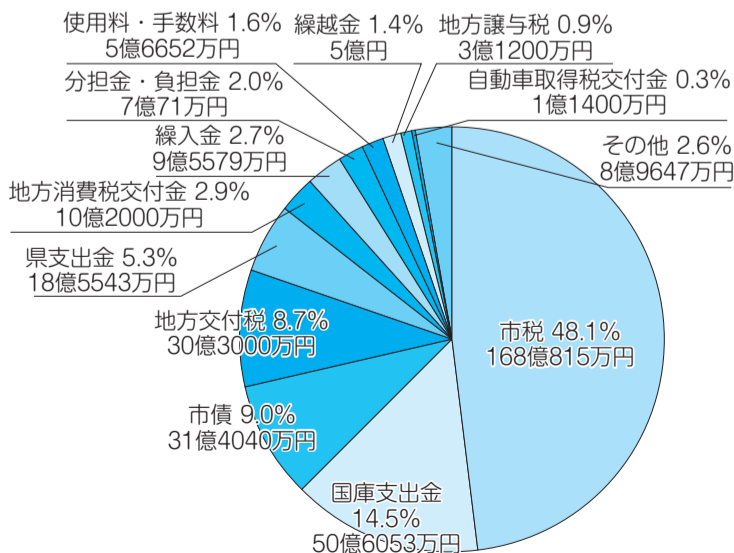
東日本大震災の復興に向けては、平成24年度も液状化等被害住宅再建支援金、被災者民間賃貸住宅家賃への補助、被災住宅修繕費の支援金などの各支援制度を延長していきます。引き続き、より一層の被災者支援を行ってまいりますので、ご協力をお願いします。

一般会計予算の構成比(グラフ)

歳出予算(目的別)の構成(構成比順掲載)



歳入予算の構成(構成比順掲載)



歳出 土木費と教育費が放射能対策費の計上などにより大幅増

◎議会費は、平成23年12月から議員定数が28人から24人となったため議員報酬等が減額となり、平成23年6月に地方議会議員年金制度

で3億9403万円(8.4%)の増となっております。

◎市債は、布佐駅南側まちづくり事業が始まることや、新木駅自由通路の整備工事に着手すること、障害者支援施設整備への補助金の交付などにより、2億3900万円(8.2%)の増となっております。

※(括弧の%)は対前年度比(グラフ右参照)

2・3面へ続く